

20代のフリーター給与に関する調査

タイトル

20代フリーター、現在の月収は20万円以下が約7割。性別や一人暮らしで意識格差

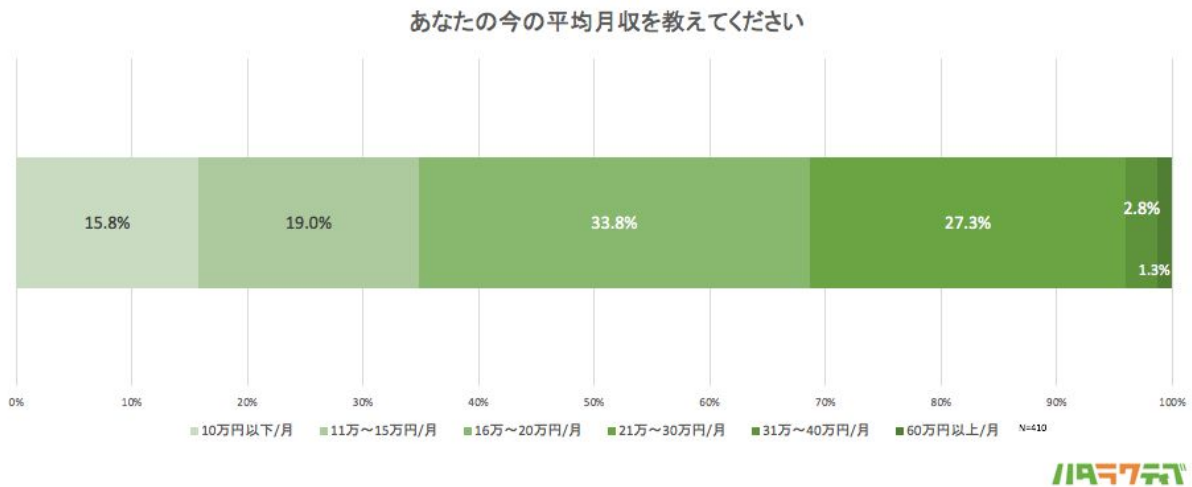
サブタイトル

男性フリーター、現在一人暮らしのフリーターは10年後希望する月収が高い傾向にあり

<リード文>

フリーターの方の大半が時給で給与が決定するため、毎月の収入が不安定になる傾向がみられます。正社員は雇用が安定していて毎月の収入が確約されていますが、アルバイトは、シフトを減らされるケースも少なくはありません。フリーターの収入面への不安が大きい傾向にあることからフリーターは、将来どのくらいの給与を求めているのか、調査しました。

<メイン画像>



<目次>

- [1.現在の月収、20万円以下が約7割。20代の平均月収に届くフリーターは3割にも満たず](#)
- [2.安心できる月収第1位は、男女ともに21万円～30万円](#)
- [3.一人暮らしのフリーターは安心できる月収が高く、31万円以上は3割を超える](#)
- [4.10年後の希望月収、男性フリーターが高く、60万円以上を希望する人は約3割](#)
- [5.現在一人暮らしをしているフリーターのほうが、10年後希望する月収は高い](#)

6.正社員を希望する20代契約社員・派遣社員・フリーターの方は7割を超え、1年以内に正社員になりたい人は約8割

<調査概要>

調査対象：ハタラクティブ登録者（現在、フリーターの方）、20歳～29歳の男女

調査時期：2019年6月5日～6月21日

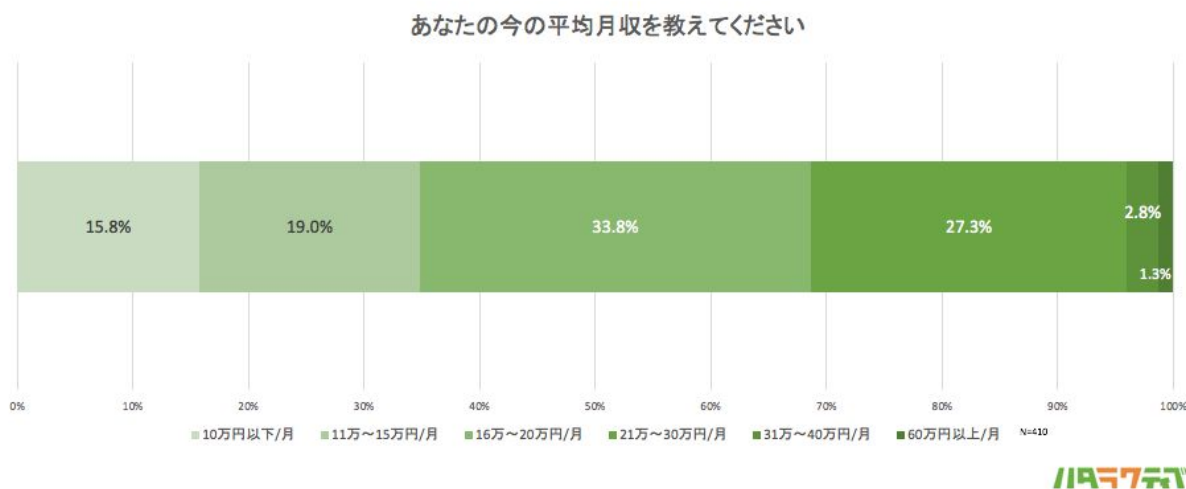
調査方法：インターネット調査

回答者数：410人（男性199人、女性213人）

調査機関：レバレッジズ株式会社 ハタラクティブリサーチ

以下本文

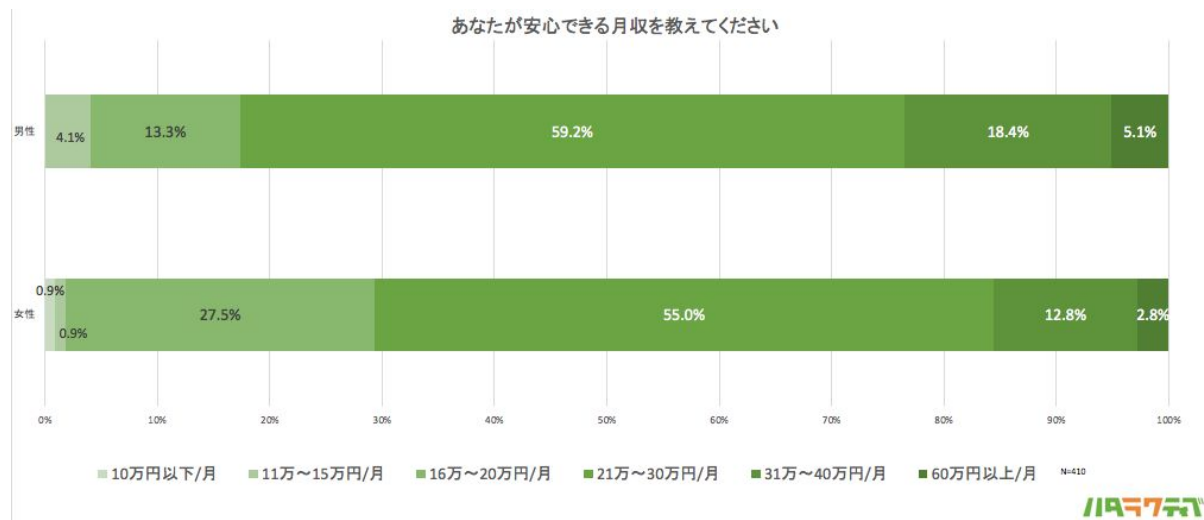
1.現在の月収、20万円以下が約7割。20代の平均月収に届くフリーターは3割にも満たず



20代フリーターの月収は7割以上が20万円以下、その中でも10万円以下と回答した人は約30%を占めました。20代の平均月収22.91万円（※2）に届く20代フリーターは、3割に満たないことが分かりました。

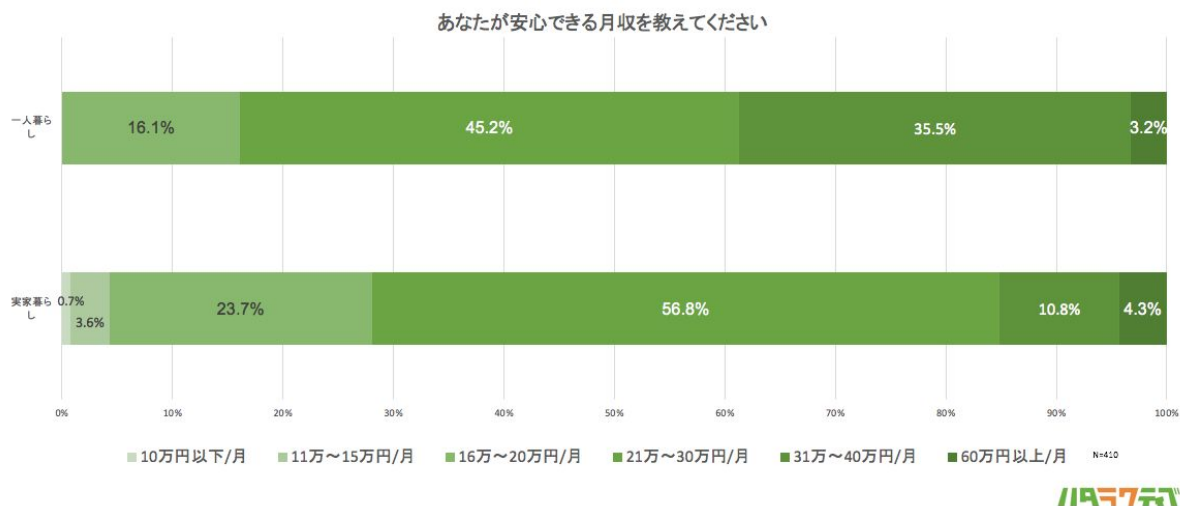
※2 国税庁「平成28年分 民間給与実態統計調査」より

2.安心できる月収第1位は、男女ともに21万円～30万円



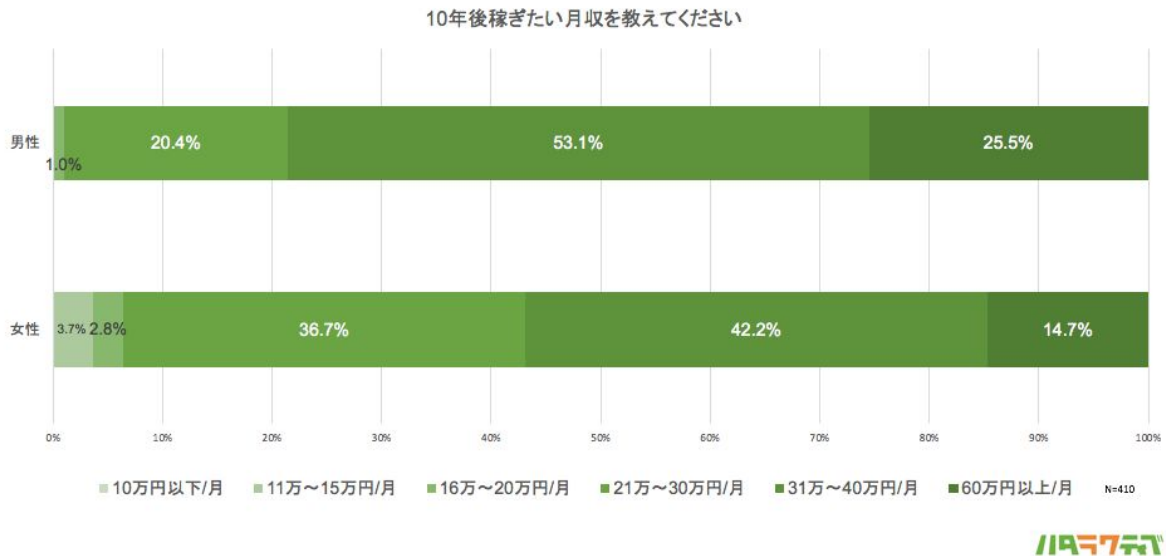
フリーターが安心できる月収は男女ともに、21万円～30万円が約6割を占めました。女性は16万円～20万円が27.5%と2番目に大きな割合になっています。

3.一人暮らしのフリーターは安心できる月収が高く、31万円以上は3割を超える



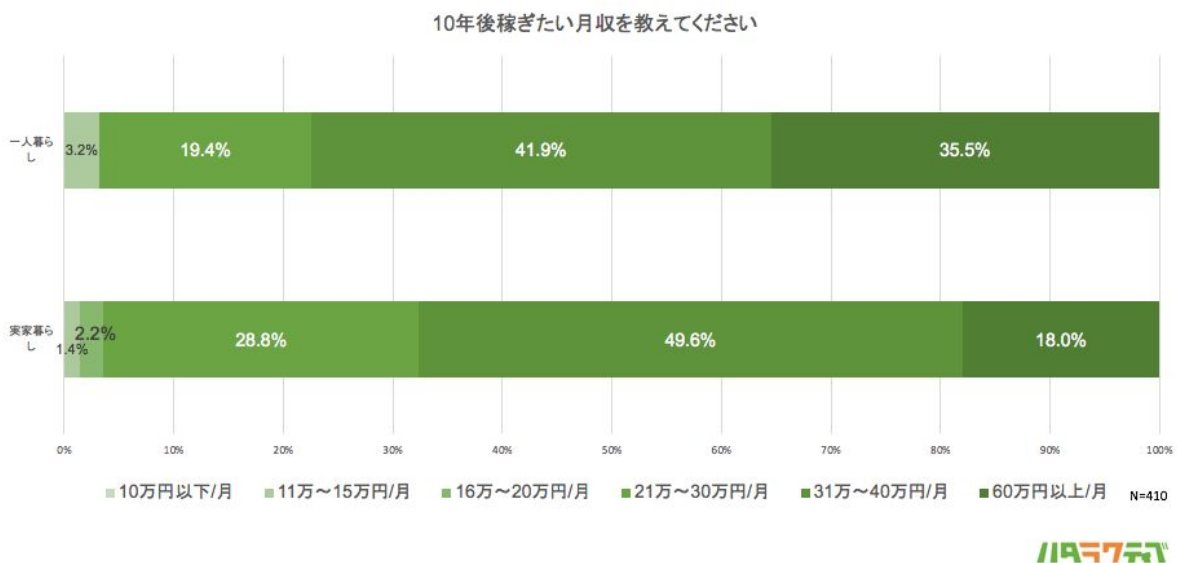
世帯別で月収を見ていくと、一人暮らしをしているフリーターのほうが安心できる月収が高い傾向にあります。実家暮らしで21万円～30万円を選んだフリーターは1割程度ですが、一人暮らしで21万円～30万円を選んだ人は約3割を超えます。

4.10年後の希望月収、男性フリーターが高く、60万円以上を希望する人は約3割



20代のフリーターが稼ぎたい月収は男性のほうが高い傾向にあり、60万円以上を希望するフリーターは3割を超えます。

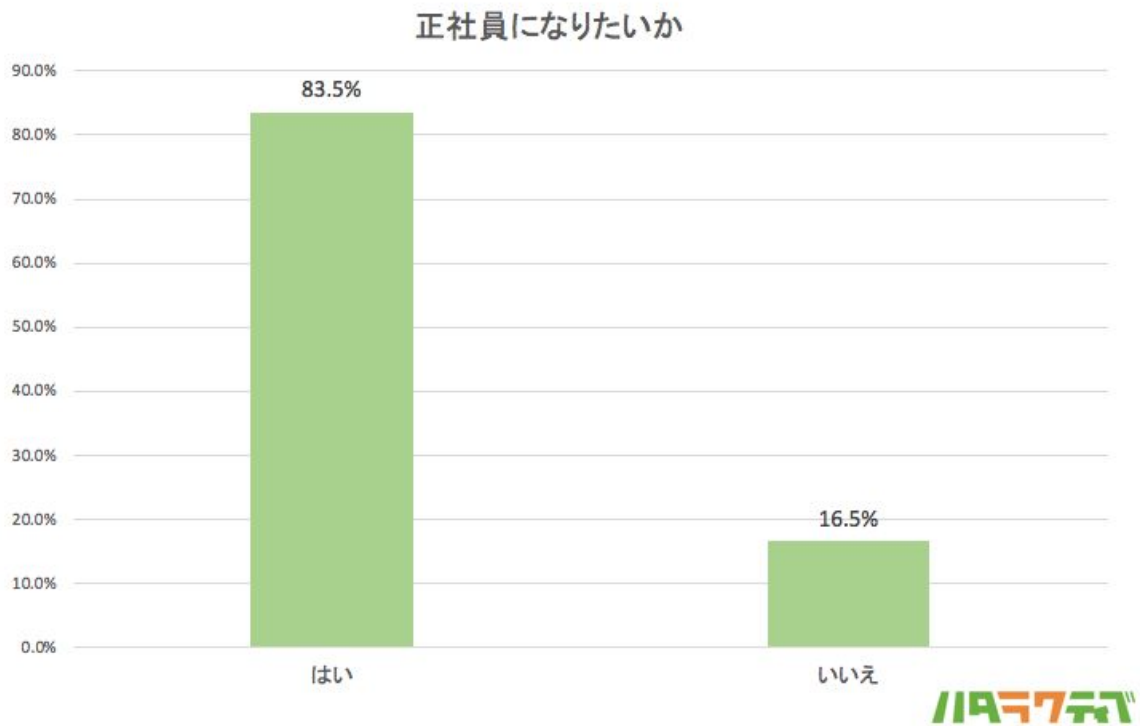
5.現在一人暮らしをしているフリーターのほうが、10年後希望する月収は高い



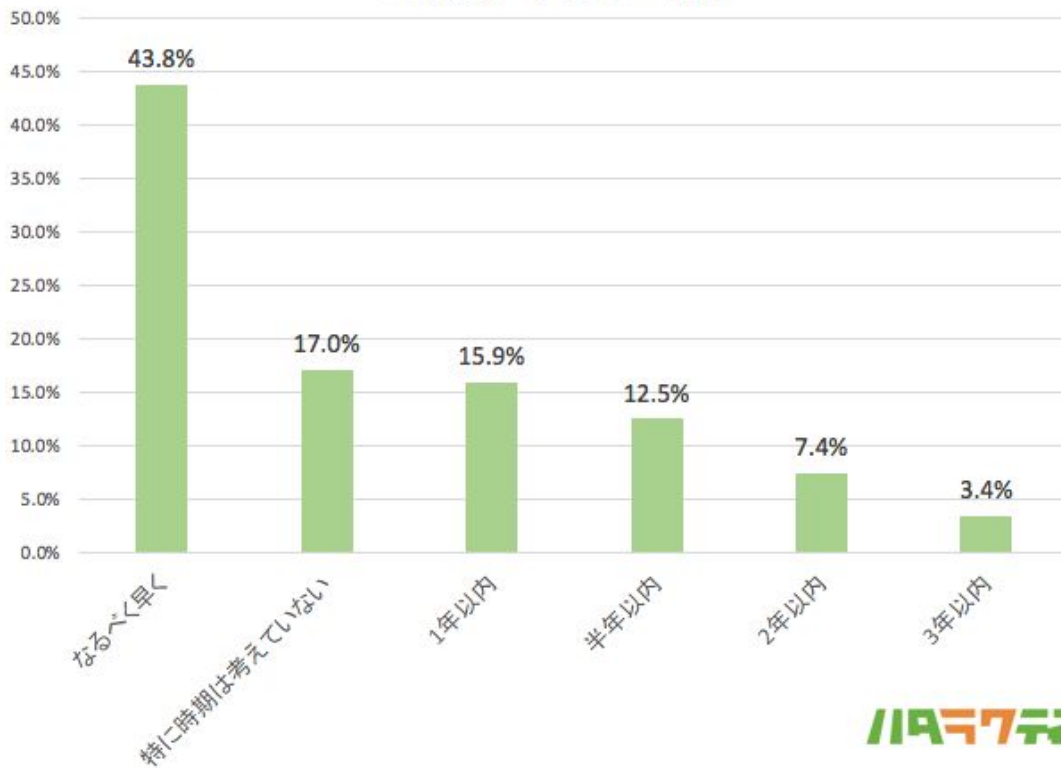
実家暮らしのフリーターよりも、一人暮らしのフリーターのほうが、10年後の希望月収が高い傾向にあります。60万円以上を希望する一人暮らし（35.5%）のフリーターは実家暮らし

し（18.0%）のフリーターを上回りました。実家暮らしか一人暮らしかで、思い描く将来の暮らし向きにも差があると明らかになりました。

6.正社員を希望する20代契約社員・派遣社員・フリーターの方は7割を超え、1年以内に正社員になりたい人は約8割



正社員になりたい時期



「正社員になりたいですか」という質問では、83.5%のフリーターが「はい」と回答。20代フリーターの大半が正社員を望んでいる結果となりました。正社員になりたい時期は「なるべく早く」と回答したフリーターは4割を超え、1年以内と回答した人は約3割となりました。

ハタラクティブではこれからも、正社員として働きたい20代フリーターの就職を支援します。一人でも多くのフリーター、既卒、第二新卒の若者が安心の給与を手にするよう全力でサポートしていきます。